

2019年度も10月に入り後半戦となりました。消費税もUPL、混乱も予想されましたが、日常生活には大きな変化がないように思います。

とはいうものの食堂の価格が値上がりしたものもあり、学校生活にも少なからず影響はあるかと思いますが、ご協力のほどよろしく願いいたします。

さて、先週から企画された、理科の授業での天体観測。1台しかない天体望遠鏡を使用して担当の井上先生が細かに設定方法や覗き方など説明しておられました。残念なことに台風の影響もあり雨は少なかったものの曇りの日が多く、十分に観察はできなかったようです。屋上から加東市を望む景色もよかったです。天気の良い日には

非一度綺麗な星空を見てみたいものです。これから湿度も下がってくればより空気の澄んだ状態で綺麗に見えるでしょう。因みにこの時期は、土星と木星

星が一度に見えるということだそうです。

10月1日には全校集会が行われました。私からの話は、10年ほど前に話題となった筆談ホステスの方が仰った「難の無い人生は無難な人生、難の有る人生は有難い人生」という言葉から話を進めました。この方は1歳10か月で聴力を失い、随分と荒れた生活を送られたそうですが、ある方との出会いから接客業に目覚め、筆談を通しての独自の接客からホステスとして銀座で人気を得、東京都の区議会議員にまでなられた方で、かなりの苦勞をされた方が話された言葉です。それだけに重みもあるのですが、何より私たちは難の無い人生を送りたいと思っている人が多いと思います。しかしながら昨今の自然災害など突如降りかかる災難もあり、想定外のことがいつ起こるかわからなくなってきています。そんな時にそのことをどう受け止めていけるかが人生を豊かにするかどうかを左右するのではないかと思います。自分にも言い聞かせながら困難にも打ち勝てる精神力を身に着け、誰かをうらやんだり、誰かのせいにして、いつまでもそのことを受け止めることができなければ苦しいだけの人生になってしまうと思います。口で言うほど簡単ではありませんが、自らに降りかかった難を自分が試されるかと思っ乗り越えられる力を身につけましようという話をしました。さらに、私のかかわった生徒には、箱根駅伝を走りたいからと早稲田大学に入学した生徒がいます。実力的にはかなり厳しい挑戦で、苦勞して大学に通ったものの結局メンバーには選ばれませんでした。その後大阪大学の大学院を経て就職したのちも走り続け100Kmマラソンで芽を出し日本代表に選ばれて世界大会を走り団体で銀メダルを取るという快挙を成し遂げました。「W」のユニフォームを着ることはできませんでしたが、「JAPAN」のユニフォームを着て活躍したということで、こういった人生を歩む生徒もいたという話から自分自身の生き方を考えようという話に結びつけました。さらに大学入試の入試方法もAO、推薦、指定校、一般とあり自分をうまく生かした入試方法を考えることや就職試験では面接もあり思いをしっかりと伝えることが大切になってきます。自分自身の人生をしっかりと考え、伝え、避けて通らずに進路実現を受け止めて実現に導いてほしい、困難を有難いと思える力を身に着けようという話と現在、ラグビーやバレーのワールドカップや陸上の世界陸上など来年の東京オリンピックに向け盛り上がりを見せている中、選手たちの頑張りや努力、そしてコメントに耳を傾け、参考になることを吸収して自分自身を磨いていってほしいという話で締めくくりました。その後、表彰伝達と水泳部の近畿大会壮行会が行われ、全校集会を終了しました。

最後に紹介が遅くなっていましたが、教育実習に村井良彦先生が来られていました。体育科担当として9月16日から本日まで3週間実習されました。短い間ですが、教えることの難しさ、大変さ、大切さを肌で感じ取ってもらえたと思います。お疲れさまでした。指導に当たっていただいた体育科の先生方もありがとうございました。

今週は今日になってようやく晴れ間も見えてきましたが、地域のお祭りも盛んになってくる時期です。朝の登校を見ていると見守り隊の方や交通指導の方が交差点に立たれ安全を見守っていただいています。とても有難いことです。地域に守られていることを実感しながら、地域の行事やイベントにも積極的に協力できるようにしていきましょう。

